

* 遊 空 間 *



〜8〜

鱒ヶ沢町バイパスを、くろくまの滝・光信公園方面に入っていると、赤石川に沿って町道が白神ライン(県道28号)の分岐まで続く。10月、この全長15.6キロの紅葉は、県内でも他地域の紅葉に引けを取らないぐらい素晴らしい紅葉である。

赤石溪流の紅葉は美しい

この溪流線にはくろくまの滝がある。赤石川の支流「滝ノ沢」にあるこの滝は、高さ85メートル、幅15メートルあり、岩木山麓の先にはブナ遺伝資源保存林がある。県道岩崎・西目屋・弘前線(白神ライン)赤石大橋北側に位置して、過去に伐採された形跡のない純粋なブナ林で、世界遺産の核心部分にも引けを取らないぐらいきれいなブナの巨木の林床を見ること

真っ黄色なブナ魅力

特に強調したいのは、町道脇の目の前の大きなブナの、真っ黄色な紅葉が迫ってくることである。赤石川の澄み切った川の色と景観と紅葉がともマッチして、自家用車から降りて歩きたくなる。カメラを持ってシャッターを切りたくなる紅葉である。この町道を私たちは赤石溪流線と呼んでいる。春、萌黄色

の県内最大級の滝である。観音様が合掌しているように見える美しく神々しい姿から、古くから信仰の場とされてき

もいる。赤石川河口から約18キロ、中流付近の支流「滝ノ沢」にあり、岩木山の西約15キロに位置するくろくまの滝は、鱒ヶ沢町の景勝地、そして日本の滝百選にも選定されている。

駐車場から滝までは、徒歩15分。ブナやミズナ

大橋の先にはブナ遺伝資源保存林がある。県道岩崎・西目屋・弘前線(白神ライン)赤石大橋北側に位置して、過去に伐採された形跡のない純粋なブナ林で、世界遺産の核心部分にも引けを取らないぐらいきれいなブナの巨木の林床を見ること

つくり周りの景色を楽しみながら走行すれば、とてもいい景観が楽しめるので、ぜひ一度はこの町道を10月の紅葉の季節に訪れることをお勧めしたい。

(NPO法人白神自然学校一ツ森校長 永井雄人)



遺伝資源保存林の紅葉



赤石溪流線脇のブナの紅葉



赤石川



夏休みの子どもたち。くろくまの滝

とができる。

トイレも近くにあり、とても便利な所に位置しているが、今はブナの木が倒壊した箇所があり、一部通行ができない状態になっている。この地域は、世界自然遺産地域外だが、日本海型ブナ遺伝子の保護を目的に、「林木遺伝資源保存林」として保護されている。

難点なのがこの町道、ほぼくろくまの滝までは舗装されているが、白神ラインの分岐点までは砂利道である。白神ラインもほぼ砂利道なので、ゆ